

平成 26 年度 第 1 回 学校協議会

平成 26 年 6 月 17 日(火) 本校校長室において第 1 回の学校協議会を開催しました。委員については、公務の関係で森田雅彦委員と畑鉄也委員が欠席し代理出席となりました。学校側からは、校長、教頭、事務長、各分掌長が出席しました。

内容

1 授業見学 13:25~15:15 委員の皆さんに 5 限(農場での農業科目)、6 限(本校での教室等)の授業を見学していただきました。

2 協議会 15:30~17:00

- ① 学校長挨拶
- ② 委員紹介・事務局員自己紹介
- ③ 運営マニュアル、実施要項、意見書について説明
- ④ 協議事項
 - ・ 授業見学について
 - ・ 平成 25 年度・26 年度学校経営計画について
 - ・ 各分掌等における今年度の重点取組み
 - ・ その他
- ⑦ 連絡 第 2 回の開催 10 月中旬
- ⑧ 学校長挨拶

3 委員からの意見等

【授業見学について】

- 最初農場に行って発表を見た。次に教室の授業を見た。本読みを当てられた時は、座って読むことに違和感を持った。古いかもしれないが、立って読むのがいいのではないかな。
- 校舎の授業、マンツーマンでやっているのを見て、よそではなかなか見られない良いところだと思った。
- 課題がある子が多いが、丁寧に見てもらってありがたい。
- 校舎の授業では、興味関心に応じ少人数で手厚く教えてもらっている。外から見ていると恵まれた環境だと思うが、中にいる生徒はそう実感できているのか、良さを理解しているのかと思った。
- 農場に行ったのは初めて。意見発表を見て、なかなかよくまとめていると思った。
- 校舎では、授業の選択肢が増えている。
- 農場では、環境の問題等も含めて、子どもたちが意見発表をしているのがよかったなと思った。先生が共生の話をされていて、良いお話をされていると思った。
- 要約筆記の授業を見た。子どもに作業をさせて、寝ないような工夫をしてもらおうといい

のではないか。パソコン、簿記等を見て参考になった。

○農場には行けていないが、教室の授業を見た。社会福祉等で作業をしているのを見たが、できればもう少し生徒に考えさせる指導がいると感じた。少人数で恵まれた環境である。

○1年生の農業と環境の授業で一人ひとり作文を書いて発表をしているのは良かった。こういうことを積み上げて自信をつけ、プレゼン能力をつけてほしい。要約筆記もいいが、手話の方が生徒により興味を示しているのかもしれないと感じた。

○プリント学習が多いのでは。答えを書いて穴埋めするというより、考えてまとめさせる授業がこれからは必要だと思う。

【学校経営計画について】

・特に意見なし。

【各分掌等における今年度の重点取組みについて】

○現状ホームページの運営について、週に1、2回会議をするなどして、スムーズな運営体制確立していくべきでは。

○生徒も教員も頑張らないといけない。様々勉強する中で、母校に愛着を持つような教育も必要ではないか。生徒、先生、保護者ともに能勢高校を愛する姿勢でやってもらいたい。

○能勢高校があつてありがたいと感じているが、それが保護者や生徒に伝わっていない。学校だけでは限界があるので、他の機関とも協力する必要あり。HPや他の方法でも情報発信がもっと必要かもしれない。

○私は東中学校の保護者であり、能勢高出身であるが、確かに、やはり今の能勢高の姿は知らない。HPを見る機会もない。

○学校協議会のマニュアルが変わり、より良い学校のために外部の意見を取り入れて行くというように変わった。委員の方には、今後積極的に発言してもらい、ぜひ橋渡しとなって頂きたい。

4 その他

第2回協議会を10月中旬、第3回協議会を3月初旬に行うこととする。日程については、今後調整する。